池島小中学校便り

愛顔（えがお） かがやけ 池島魂

～「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を目指して～

発行：令和８年１１月１１月１６日（月）NO１８　文責：校長　津田　幸一

学校 HP　URL https://www.nagasaki-city.ed.jp/ikeshima-h/

池島まつり

たくさんの方々にご来島いただき、子供たちの輝く姿をご覧いただきました。誠にありがとうございました。

「池島の子供の底力」を発揮できたことは、校長としてとても誇らしいです。

練習の成果を十分に発揮して得られた達成感は、本人たちの将来を支えるかけがえのない経験になるはずです。以降の学校生活に生かしてほしいと願っています。









「為せば成る（なせばなる）

為さねば成らぬ　何事も

成らぬは人の為さぬなりけり」

「なせばなる」という言葉。

辞書に「どんなことでも努力すれば必ずできることの意」と書いています。パワーワードです。

私は、この言葉を子どものころから、たくさん耳にする機会がありました。

当時の学校の先生たちは、よく言っていたように記憶しています。また、習っていた剣道や野球の指導者の先生もよく言っておりました。私は子どもなりに、「あなたが価値あると感じていることに対して、惜しまぬ努力をしよう」というメッセージだった受け止めていました。

そのおかげで、この言葉の力を借り（信じ）て、いくつかのきついことも乗り越えられたように思います。

言葉には力があります。

大人が発した言葉は、子どもの考え方に影響を与えるということがあります。言葉が、考え方に影響を与え、考え方が変わると、生き方が変わります。生き方が変われば、未来が変わります。

「言葉を磨く」 本校の重点取組です。

このことについて、御家庭でも御理解と御協力をお願いいたします。

さて、「なせばなる」について紹介します。この言葉は、江戸時代の名君・上杉鷹山（うえすぎ　ようざん）が家臣たちに詠んだ歌として知られています。実際は、標題のような和歌です。この冒頭部分が、格言となって広まっています。

和歌全体を現代語に訳すと、「どんなことでも努力すれば必ずできる。逆に、諦めて努力しなければ絶対にできない」という意味です。

この言葉には、以下のような含意が込められています。

- 〇行動することの大切さ
- 〇諦めずに努力することの重要性
- 〇自らの可能性を信じること

上杉鷹山自身が、家督を継いだ時、米沢藩は深刻な財政難に陥っていました。にもかかわらず、鷹山は、徹底した倹約政策と改革によって藩財政を立て直し、人々の生活を向上させました。その経験に基づいた言葉だと言えます。



上杉鷹山（ようざん）

※江戸時代の米沢藩主の一人。

アメリカのケネディ大統領が、最も尊敬する政治家として挙げた人物として知られています。

封建的な江戸時代の日本にあって、民主政治を掲げた名君です。